

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公表番号】特表2003-519281(P2003-519281A)

【公表日】平成15年6月17日(2003.6.17)

【出願番号】特願2001-550446(P2001-550446)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

**C 0 8 J 5/18 (2006.01)**

**C 0 8 K 3/00 (2006.01)**

**C 0 8 K 5/34 (2006.01)**

**C 0 8 L 27/12 (2006.01)**

**C 0 9 D 5/00 (2006.01)**

**C 0 9 D 201/00 (2006.01)**

**C 0 9 K 3/16 (2006.01)**

**C 0 9 K 3/18 (2006.01)**

**D 0 6 M 13/236 (2006.01)**

**D 0 6 M 13/256 (2006.01)**

**D 0 6 M 13/352 (2006.01)**

**D 0 6 M 13/355 (2006.01)**

**D 0 6 M 13/418 (2006.01)**

**D 0 6 M 13/46 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 J 5/18 C E R

C 0 8 J 5/18 C E Z

C 0 8 K 3/00

C 0 8 K 5/34

C 0 8 L 27/12

C 0 9 D 5/00 Z

C 0 9 D 201/00

C 0 9 K 3/16 1 0 4 D

C 0 9 K 3/16 1 0 7 D

C 0 9 K 3/18 1 0 2

D 0 6 M 13/236

D 0 6 M 13/256

D 0 6 M 13/352

D 0 6 M 13/355

D 0 6 M 13/418

D 0 6 M 13/46

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 撥水撥油性帯電防止組成物であって、(a)(i)一価金属カチオン、二価金属カチオン、及び有機オニウムカチオンからなる群から選択された少なくとも 1 つのカチオン及び(ii)少なくとも 1 つの弱配位アニオンであって、前記アニオンの共役酸が炭化水素スルホン酸の酸度以上の酸度を有するが、ただし、前記カチオンが金属である時に、有機系またはフルオロ有機系である弱配位アニオン、からなる少なくとも 1 つのイオン性非重合塩と、(b)少なくとも 1 つのフルオロケミカル撥剤と、(c)少なくとも 1 つの絶縁材と、を含む、撥水撥油性帯電防止組成物。

【請求項 2】 (a)(i)少なくとも 1 つの窒素オニウムまたはリンオニウムカチオン及び(ii)少なくとも 1 つの弱配位アニオンであって、前記アニオンの共役酸がメタンスルホン酸または p - トルエンスルホン酸の酸度以上の酸度を有する弱配位アニオン、からなる少なくとも 1 つのイオン性非重合塩と、(b)溶融添加剤として使用するのに適している少なくとも 1 つのフルオロケミカル撥剤と、(c)少なくとも 1 つの熱可塑性ポリマーと、を含み、成分(a)、(b)、及び(c)の溶融ブレンドを形成することによって調製される、撥水撥油性帯電防止組成物。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 に記載の組成物を含む繊維。

【請求項 4】 請求項 3 に記載の繊維を含む布。

【請求項 5】 請求項 1 または 2 に記載の組成物を含むフィルム。

【請求項 6】 請求項 1 または 2 に記載の組成物を含む成形またはブローン物品。

【請求項 7】 請求項 1 または 2 に記載の組成物を含むコーティング。

【請求項 8】 請求項 1 に記載の撥水撥油性帯電防止組成物の調製方法であって、(a)(i)少なくとも 1 つのカチオン及び(ii)少なくとも 1 つのアニオンからなる少なくとも 1 つのイオン性非重合塩であって、前記カチオンが一価金属カチオン、二価金属カチオン、及び有機オニウムカチオンからなる群から選択され、前記アニオンが弱配位アニオンであり、前記アニオンの共役酸が炭化水素スルホン酸の酸度以上の酸度を有するが、ただし、前記カチオンが金属である時に前記アニオンが有機系またはフルオロ有機系である、イオン性非重合塩と、(iii)少なくとも 1 つのフルオロケミカル撥剤と、(iiii)少なくとも 1 つの熱可塑性ポリマーと、を配合する工程と、(b)得られた配合物を溶融加工する工程と、を含む、撥水撥油性帯電防止組成物の調製方法。

【請求項 9】 請求項 1 に記載の撥水撥油性帯電防止組成物の調製方法であって、(a)(i)少なくとも 1 つのカチオン及び(ii)少なくとも 1 つのアニオンからなる少なくとも 1 つのイオン性非重合塩であって、前記カチオンが一価金属カチオン、二価金属カチオン、及び有機オニウムカチオンからなる群から選択され、前記アニオンが弱配位アニオンであり、前記アニオンの共役酸が炭化水素スルホン酸の酸度以上の酸度を有するが、ただし、前記カチオンが金属である時に前記アニオンが有機系またはフルオロ有機系である、イオン性非重合塩と、(iii)少なくとも 1 つのフルオロケミカル撥剤と、(iiii)少なくとも 1 つの熱硬化性ポリマーまたはセラマーもしくは前記ポリマーまたはセラマーの反応性前駆物質と、を配合する工程と、(b)得られた配合物を硬化させる工程と、を含む、撥水撥油性帯電防止組成物の調製方法。